



堀 景 議員

小学校のプールの安全性確保に関する取り組みについて

問 プール利用者の安全管理体制の現状と対策について問う。

答 安全監理指針での適切な水位は、全ての児童の両肩が水面から出ていることとなっているため、プール全体の水位を下げることやプールフロアを利用することで水位を調整している。また、授業を行う授業者とは別に、プールサイドから全体を見渡す監視員を1名以上必ず配置し、児童一人一人の様子に注意を払い児童の安全を確認する。

問 今後の安全性向上に関する具体的な改善策を問う。

答 暫定的な措置として、簡易プールを購入することで、低学年の児童の安全を確保する。来年度の水泳授業までに、

プールフロアを購入出来るよう検討する。

離島振興について

問 沖の島地域における今年度の取り組みの目的と概要を問う。

答 夏の観光シーズンに合わせ7月12日、13日の2日間、沖の島の豊かな地域資源を活かしたシーカヤック体験を始めとするアクティビティなイベントを開催する。また、11月頃に秋の体験型観光イベントを予定している。

問 漫画原画展、シンポジウムの詳細な計画について問う。

答 漫画「釣りバカ日誌」「Dr・コトー診療所」の原画展を2週間程度開催を予定している。

また、7月27日のシンポジウムは2部構成で、1部は離島医療と地域医療をテーマとして、医療関係者や漫画「Dr・コトー診療所」の作者である山田貴敏先生を招いて講演を予定し、2部では離島振興に意欲のある事業者や関係団体に参加をいただき、パネル

ディスカッションを予定している。

問 グリーンスローモビリティの運用体制、利用方法について問う。

答 令和6年度に沖の島において、エネルギーコストや環境性能での優位性があり、狭小な道路の多い島内での移動手段として導入したグリーンスローモビリティを観光客などへ無償で貸し出し、運営に関しては沖の島観光協会に委託を予定。運用は令和7年7月より開始予定で、1日1組限定の完全予約制でオンラインまたは電話にて予約の受付を行う。

駅前公園津波避難タワーについて

問 夜間における防犯管理体制やゴミの散乱防止策を問う。

答 職員の巡回の強化を図るとともに防犯カメラの増設、学校等への周知、注意看板の設置を行い公園利用のマナー啓発に努める。

問 トイレ等の設備導入につ

いて問う。

答 同じ敷地内に芝生広場や遊具エリア、駐車場などがあり、スペースの問題から、トイレの新設は難しい。



今城 隆 議員

会計年度任用職員制度と運用の課題について

問 宿毛市の会計年度任用職員の実態を聞く。

答 令和7年4月1日現在の会計年度任用職員は90人で全職員に占める割合は22%、そのうち女性の占める割合は82%である。

配置の多い職種は、学校支援員24人、保育士15人である。実質的に連続任用とみなせる職員は、5年以上の方が28名、そのうち10年以上の方が9名である。長期任用が多いのは保育士と学校支援員であり、女性の割合が高い。

問 令和4年の総務省通知で、「前年度と同一業務に従事する者の再任用判断については、勤務実績を客観能力の実証とみなし得る」としているが、この通知をどう反映させているか。

答 本市では、公平な雇用機会を設ける観点から、毎年度公募し、平等取扱いの原則を踏まえた対応を行っている。

問 公募において、継続雇用者の勤務実績は選考資料としないのか。

答 選考資料としていない。

問 長年継続勤務してきた職員に対して、形式的な満了通告のみで対応することは、予見可能性や納得性を欠く恐れがある。この点に関する人権的、社会的責任について市の認識を伺う。

答 長年勤務してきた職員について、再度任用の可能性はあるとしても、確約されているものではないと理解いただいていると認識している。なお、各所属より、毎年1月以降に翌年度の募集についてお伝えしている。